

私たちの大切な

地域医療を守るために Vol.2

「今後の郡上市の医療をみんなで共に考えよう」

広報郡上（平成30年9月号）

にて掲載しました地域医療特集記事で、医療を守り育てるため郡上市が目指すものとして、

- ▼医師等、医療従事者の確保
- ▼市内医療機関の綿密な連携
- ▼地域包括ケアシステムの構築
- ▼へき地医療体制の維持
- ▼地域医療を考える市民活動

また平成29年度は、公立医療機関の代表と行政が、人口減少や現状の経営状況を踏まえた外来受診・入院体制のあり方など、医療提供の最適化をどう図るかを議論してきました。

その目指す姿として、「地域完結型」の連携体制の実現により、市民が安心して医療や介護支援が受けられ、最期まで郡上で暮らせること、そのためには各医療機関が連携体制のもとでの役割分担が求められています。

〈第1回〉郡上市地域医療関係懇談会を開催

去る1月には、岐阜県健康福祉部医療整備課職員同席のもと、行政、郡上市医師会、市内



▶市内公立及び民間病院長を交えた懇談会の様子

6 医療機関の代表が参加した「第1回郡上市地域医療関係懇談会」が開催されました。

この懇談会では、岐阜県地域医療構想で示す中濃圏域の医療提供体制の見直しの中で、郡上市内の公立・民間医療機関の適正な役割分担や、経営基盤の効率化のため、病床（入院ベット）数の調整、急性期医療やへき地医療への対応についての話し合いが行われました。今後は、市内二つの公立病院の関係や位置づけについて研究・検討を行っていく予定です。

医療現場をとりまく

深刻な問題について

懇談会の意見交換では、市の人口減少や高齢化の加速とともに、公立・民間医療機関医師の高齢化や後継者不足が深刻な問題として取り上げられました。また、各病院の経営状況を鑑み、需要に応じた適正な病床（入院ベット）数の調整を行うことで、看護師及び医療従事者不足の解消や、経営状況の改善が図れるのではないかな等の意見が交わされました。

特に病床のあり方については、市民が安心して郡上市に暮らし続けられる体制づくりとして、急性期から回復期、その後の在宅医療や施設入所への移行といった流れの中で検討していく必要があることを確かめました。

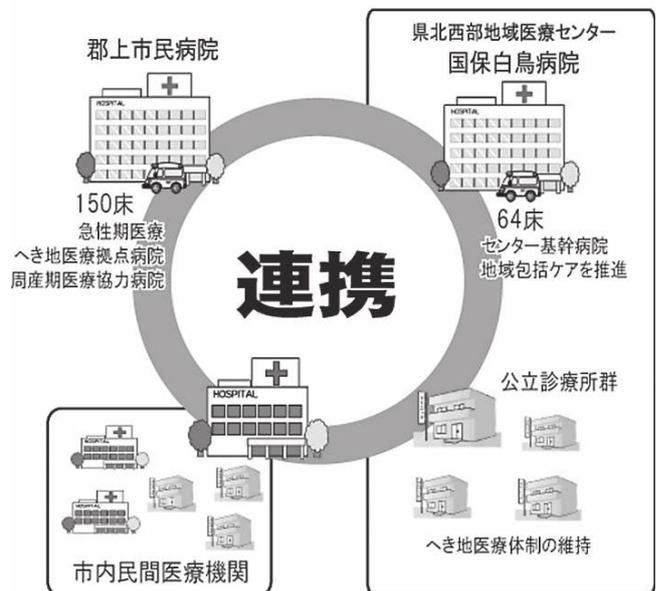
市民の手によって

支える地域医療

市民にとって望ましい医療体制とは、家族の健康状態について、いつでも相談ができ、診てもらえるような「かかりつけ医」を持つことではないでしょうか。こうしたことを含め、郡上市の地域医療に関心をもち、医

療関係者と語り合いながら、地域の医療を守り育てることを目的とする「地域医療を守るためのガヤガヤ会議（平成26年度発足）」による市民活動が、現在広がりつつあります。

市内医療機関の連携イメージ



地域医療フォーラム in 白鳥

[期日] 6月中旬予定
[時間] 午後1時30分～午後4時
[場所] 白鳥ふれあい創造館

郡上の医療を知ろう！
そしてみんなに広げよう



地域医療フォーラム in 大和

[期日] 9月下旬予定
[時間] 午後1時30分～午後4時
[場所] 大和地域内

【問い合わせ先】
健康福祉部健康課
☎67・1834